

ムハンマドの奇跡（パート3/3）

説明： 預言者（彼に神の慈悲と祝福あれ）によるその他の様々な奇跡について。

より IslamReligion.com

掲載日時 07 Feb 2011 - 編集日時 07 Feb 2011

カテゴリ： [記事](#) > [イスラームの真実性を示す数々の証拠と奇跡](#) > [ムハンマドの預言者性に関する証拠](#)

カテゴリ： [記事](#) > [預言者ムハンマド](#) > [彼の預言者性の証拠](#)

預言者によって行なわれた多くの奇跡は、スンナ（預言者にまつわる言行、承認、または叙述）によって伝えられています。

木の幹

ムハンマドはマディーナにおいて、木の幹にもたれかかって教えを説くことを習慣としていました。信仰者の数が増えて来ると、ある者が説教壇の設立を提案しました。預言者は説教壇が設けられると木の幹で説教をしなくなりました。教友の1人であるアブドッラーブン ウマルが次のような目撃証言をしています。木の幹が咽び泣いたので、慈悲深き預言者はそれを手でなぐさめたのです。[1](#)

この出来事は信頼の置ける学者たちによる、途切れることのない目撃証言（ハディース ムタワーティル）によって確認されています。[2](#)

溢れ出す水

数回に渡って起きたこととして、人々が渇きに苦しんでいた時、預言者による祝福が彼らを救ったことが挙げられます。ムハンマドがマッカからマディーナへと移住した6年目に、彼はマッカへの巡礼を行ないました。砂漠での長い旅路で人々は完全に飲料水を切らしてしまい、ただ一つ残ったものは預言者の持っていた容器でしたが、それも彼は礼拝の清めのために使い果たしてしまいました。しかし彼がその容器に手を置くと、彼の指の間から水が溢れ出て来たのです。その奇跡を目撃したジャービルブン アブドッラーは、その場にいた1,500人が「それを飲み、清めを行ないました。」[3](#)

と述べています。この奇跡は信頼の置ける学者たちによる、途切れることのない連続的な伝承経路（ハディース ムタワーティル）をもって伝えられています。

人間の指からほとばしる水というのは、石から水が創り出されたモーゼによる奇跡とも似ています。

食物の祝福

祈ったり、またはそれに触れたりすることにより、預言者が食物に祝福を与え、その場にいた全員が満足するまで食べられるようにしたことも複数伝えられています。これは飲食の貯蔵が尽き、ムスリムたちに苦難が訪れた時に起きています。[5](#)

これらの奇跡は大勢の人々の目の前で起きており、否定することは不可能なのです。

病人の治癒

アブドッラーブンアティークが脚を骨折した際、ムハンマドはその上から手をさすって治癒した。アブドッラーは、まったく何もなかったかのように元通りになった、と言った。この奇跡を目撃したのはバラアブンアズィブという別の教友だった。(サヒーフブハーリー)

またハイバル遠征の際、ムハンマドは軍隊の前で、目を患っていたアリーブンアビターリブのを治癒しました。アリーはその後、四代目カリフになった人物です。[6](#)

魔除け

ムハンマドは、母親に連れて来られた男児の魔除けをしました。その際「
出よ！私はムハンマド。神の使徒である！」
」と言って悪魔を追い払いました。その母親は言いました。「真実をもってあなたを遣わされた御方にかけて。私たちはその後、男の子から全く何の問題も見出しませんでした。」[7](#)

答えられた祈り

(1) ムハンマドに近い教友であるアブーフライラの母は、イスラームとその預言者を中傷していました。ある日アブーフライラは泣きながらムハンマドを訪れ、彼の母親が救われるように祈ってくれるよう彼に頼みました。そしてムハンマドが祈り、アブーフライラが帰宅すると、彼女は改宗の準備が出来ていたのです。彼女は息子の前で信仰宣言をし、イスラームに改宗しました。[8](#)

(2) ジャリールブンアブドッラーは、神以外を崇拝する偶像崇拝者たちの土地を駆逐しよう、預言者による命を受けましたが、彼はうまく乗馬が出来ないことを彼に訴えました。預言者は彼のために次のように祈りました。「神よ、彼を強靱な乗り手とし、導く者、かつ導かれた者にして下さい。」ジャリールはその後、決して落馬することがなくなると証言しています。[9](#)

(3) ムハンマドの時代、人々は飢饉に襲われていました。ムハンマドが金曜日の説教をしていた時、ある男が立ち上がってこう言いました。「神の使徒よ、私たちの富は破壊され、子供たちは飢えています。私たちのために神へお祈り下さい。」ムハンマドは両手を掲げて祈りました。

その場に居合わせた人々は、彼が祈り終えて両手をおろした途端、雲がまるで山々のように形成されていったことを証言したのです。

彼が説教壇から降りる頃には、彼の髭から雨が滴るほどでした！

雨は次の金曜日までの一週間、降り続けたのです！

同じ男がまた立ち上がり、今度はこのように言いました。「神の使徒よ、私たちの建物は崩壊し、家畜も溺れ死にました。私たちのために神へお祈りください！」

ムハンマドは両手を掲げて祈りました。「神よ、我々の上でなく、我々の周りに(雨を降らせて下さい)。」

すると彼の指し示した方向に雲が退き、マディーナの上空を除く町の周りのみを雲が囲んだということが、その場にいた者たちによって証言されているのです！[10](#)

(4) また、ジャービルに関する美しい逸話があります。ある時、彼の乗っていた水を運ぶラクダが疲弊し動けなくなりました。ムハンマドは彼に尋ねました。「あなたのラクダはどうしたのですか

？」ラクダが疲弊していることを知ったムハンマドがその哀れなラクダのために祈ると、ラクダはそれ以降、常に先頭に行くようになったとジャービルは報告しています。ムハンマドはジャービルに尋ねました。「あなたのラクダの調子はどうですか？」ジャービルは答えました。「快調です。あなたの祝福がラクダに届いたのです！」ムハンマドはその場でジャービルから金と引き換えにそのラクダを買い取りました。条件としてはジャービルがそれに乗って町に帰り付いた後というものでした。マディーナに戻ったジャービルは翌朝ムハンマドにラクダを届けにいきました。ムハンマドは彼に金を支払った後、彼がラクダを取っておくよう言ったのです！[11](#)

大勢の前で偉大なる奇跡を目撃したことによって、彼の周囲の人々が彼の誠実さを確信していたことはごく自然なことだったのです。

Endnotes:

[1](#)サヒーフ ブハーリー

[2](#)

木の幹が咽び泣いたという事件は10人以上に渡る預言者の教友たちがこの報告を伝えています。ハディース大学者たちによる次の著作をご参考ください：アッ＝スユーティエ著 ‘Azhar al-Mutanathira fi al-Ahadith al-Mutawatira’ 267頁、アル＝カッターニー著 ‘Nadhm al-Mutanathira min al-Hadith al-Mutawatir’ 209頁、イブン カスィール著 ‘Shamail’ 239頁。

[3](#)サヒーフ ブハーリー

[5](#)サヒーフ ブハーリー。参考：アル＝カッターニー著 ‘Nadhm al-Mutanathira min al-Hadith al-Mutawatir’ 213頁、カーディー イヤード著 ‘al-Shifa’ 419頁。

[6](#)サヒーフ ブハーリー、サヒーフ ムスリム

[7](#)イマーム アハマドによるムスナド、およびシャルフ アッ＝スンナ。

[8](#)サヒーフ ムスリム

[9](#)サヒーフ ムスリム

[10](#)サヒーフ ブハーリー、サヒーフ ムスリム

[11](#)サヒーフ ブハーリー、サヒーフ ムスリム

この記事のウェブアドレス：

<http://www.islamreligion.com/jp/articles/152>

Copyright © 2006-2011 www.IslamReligion.com. All rights reserved.